

# 盲導犬を普及させる会

ニュースレター



発行：「盲導犬を普及させる会」  
〒271-0092  
千葉県松戸市松戸 1813-1-905  
TEL 090-8003-7790  
FAX 047-711-9988  
info@modokenfukyu.net

## 学校盲導犬講演（県内小中学校）

昨年までは学校盲導犬講演は学年の平日授業として①盲導犬ユーザーの講演②盲導犬と目の不自由な方との接し方のDVD映写③生徒全員によるガイドヘルパー（手引き歩行）実習と質疑応答を行い、スタッフが不足の場合は保護者の役員の方々に協力をお願いしていました。しかし今年は各学校、教員と生徒だけということで、事前にタイムスケジュールを調整し、盲導犬ユーザーの講演と手引き歩行の実習は各クラス代表の4名に。設営は教員と生徒にお願いしました。準備と片づけ等の役割分担は子供たちが決め、最後に記念写真。コロナ禍でイベントの減った子供たちからは目の不自由な方との接し方などいろいろと教えてもらえて勉強になった、今まで一番楽しかったなどと感想を聞くことができました。（森）



習志野市立第三中学校（講師：保谷治子&いおん）



松戸市立高木第二小学校（講師：松井進&ジョバンニ）



松戸市立松飛台第二小学校（講師：森公子&グリーナ）

### 盲導犬授業感想文 松戸市立高木第二小学校 Eさん

私は盲導犬の講習を受ける前までは、犬が入っていいマークがついている場所しか盲導犬が入れないと思っていた。ですが盲導犬講習でだいたいの場所はいけると知ってびっくりしました。他にも盲導犬を使っている人へのお手伝いの方法や、こそあど言葉を使って手伝いはしないほうがいいなど、たくさん盲導犬について勉強できたり、近くに盲導犬を連れた人がいたら手伝いたいと思いました。ありがとうございました。

こんにちは介助犬使用者、船橋在中の西澤陽一郎&介助犬ラッキー7歳男の子です。

18年勤めていた会社を退職し、2020年1月より新天地へ転職しました。通勤時間帯や朝のルーティン、業種も職種もガラリと変化。入社後は社内報に取り上げられる程、ウェルカムモード一色で。私とラッキーは一気に会社の人気者になりました。しかし、入社3ヶ月目頃、コロナが騒がれはじめ、慣れないまま在宅勤務がスタートし、1人での在宅勤務は落ち込む事や不安だらけ。会社帰りに友達とお酒を飲みリフレッシュする大好きな時間が一切できなくなったりした事がとても辛かったです。そんな状態を察し職場の上司や同僚が、沢山のフォローをくださり、徐々に自分の任されている業務に慣れてきました。今では朝8時から16時半まで月数回出勤中。業務終業後のライフバランスも充実して運動不足解消にジムへ通い。その後はラッキー君と散歩。料理したり、掃除したりと、家の事もできるようになりました。



西澤ラッキー君です

早春の候、会員・賛助会員・関係各位の皆様には日頃より盲導犬を普及させる会の活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。昨年度からあつという間に世界中へ広まった新型コロナ感染症に驚愕するとともに、亡くなられた方々やご家族の皆様に哀悼の意を表します。また医療の最前線で戦っている医療関係者の皆様に心より感謝と敬意を表します。盲導犬を普及させる会の活動は皆様のご厚意で支えられております。ボランティアの方々や補助犬ユーザー・参加者の皆様への感染防止のため予定しておりました盲導犬チャリティコンサートや補助犬交流会も中止となりました。そんな中数少ないイベントとして千葉県内の小中学校の広い体育館でソーシャルディスタンスと感染予防措置をしながら「盲導犬講演」をさせていただいたことは20年の活動の中で地道に盲導犬の啓発教育が継続していることを実感させていただきました。ご依頼いただきました学校に感謝しております。また数年前から盲導犬の受け入れに関し長時間の活動や移動には人と同じくトイレが必要という認識のもと、松戸駅近くに補助犬トイレの設置を松戸市にお願いしております。障害を持っている人も持っていない人も同じ生活が送れるよう、目の不自由な方をガイドする盲導犬が過ごしやすい優しい街づくりにご理解とご協力をお願いいたします。募金活動ができない状態で活動資金が減少しております。募金のご協力をよろしくお願いします。今年のニュースレターはコロナ禍で活動している補助犬ユーザーの皆様に投稿をお願いしました。

### ● 第22回総会開催案内

#### 1. 総会日程並びに会場

開催日時 2021年4月25日(日)9時半~12時

開催場所 松戸市民劇場(松戸市本町11-6)第2会議室

総会当日出席できない方でご意見のある方は電話またはFAXで事務局までご連絡ください。ご欠席の方はすべての議題に委任頂いたものとして決議させていただきます。

#### 2. 2020年活動報告

①小中高等学校での盲導犬講演(4か所)

②第24・25回盲導犬チャリティコンサート中止

③補助犬用トイレについて松戸市と意見交換

④県内身体障害者補助犬のサポート(予防薬)

⑤盲導犬訓練所のサポート

⑥役員会・総会の開催

### ● 2021年度主な行事予定

2/28 盲導犬を普及させる会役員会・監査会

3/24 松戸市と補助犬用トイレについて意見交換

4/11 ニュースレター送付 松戸市民劇場第一研修室9:30~

4/12 松戸市と補助犬用トイレについて意見交換

4/25 盲導犬を普及させる会総会(松戸市民劇場)

10月頃 第26回盲導犬チャリティコンサート:松戸駅西口デッキ

11月頃 第16回身体障害者補助犬交流会(21世紀の森)

県内身体障害者補助犬のサポート(予防薬)

協力いただいている県内補助犬卒業訓練所への支援:東日本盲導犬協会(宇都宮市)・いばらき盲導犬協会(ひたちなか市)・日本盲導犬協会(横浜市)・アイメイト協会(練馬区)・日本補助犬協会(横浜市)・関西盲導犬協会(亀岡市)・兵庫介助犬協会(西宮市)

随時 学校盲導犬講演



入店可シール貼付をお願いします。



ホームページ



MODOKENFUKYU

Instagram

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越金	4,945,825	活動費	9,000
京葉銀行定期預金	2,032,732	学校講演等講師料	9,000
京葉銀行普通預金	51,580	事務局運営費	652,556
郵便貯金	2,843,438	ホームページ運営費	35,740
手持ち現金	18,075	倉庫保管料	80,000
利息	77	事務局費	129,564
京葉銀行定期預金	77	通信費	117,119
京葉銀行普通預金	0	消耗品費	11,192
会費	163,000	支払手数料	19,521
個人会員	83,000	チャリティーグッズ代	25,920
賛助会員	80,000	保険料	3,900
寄付金他	437,727	諸会費・寄付金	70,000
寄付金	198,000	印刷費	159,600
協賛金	65,000	小計	661,556
募金箱	104,727	次年度繰越金 (盲導犬導入資金を含む)	4,885,073
グッズ販売	0	京葉銀行定期預金	2,032,809
講演料	70,000	京葉銀行普通預金	39,229
	437,727	郵便貯金	2,720,165
		手持ち現金	92,870
合計	5,546,629	合計	4,885,073
			5,546,629

# 盲導犬と安心して利用できるトイレの設置を求めて！！ 盲導犬を普及させる会アドバイザー 松井進&ジョバンニ<sup>(3)</sup>

『はじめに』松戸市には現在私を含めて2名の盲導犬ユーザーがいます。そして盲導犬を普及させる会では毎年定期的に「盲導犬チャリティコンサート」を開催しています。年によって異なりますが、そのイベントには毎年20頭弱の盲導犬が集結し、共に多くの盲導犬ユーザーが集まります。そして人も犬もそうですが、長時間滞在するにはトイレが必要不可欠という実態があるのです。それを踏まえて、我々は盲導犬とユーザーが安心して利用できるトイレの実態を他府県を参考に調査しました。

## 1、盲導犬用のトイレの選考事例

現在全国に十数カ所盲導犬用トイレが設置されています。駅や空港などにも設置されていますが、有名なのは福岡の天神にある盲導犬用トイレです。ここでは施設付近に音声ガイドが付けられ盲導犬用トイレがあることがアナウンスされています。施設内に入るとやはり音声ガイドがあり、設備の使い方が紹介されています。実際に排泄後は水が出て便も尿も洗い流してくれます。

## 2、他の選考事例

埼玉副都心駅にも補助犬用トイレの設置事例があります。こちらは私も実際に訪問して試してみましたが、介助犬のための設備で、残念ながら盲導犬には使用するのが難しい設備でした。他の事例としては、高知県立図書館に盲導犬用トイレがあります。こちらは周囲が囲われた2メートルほどの区画に、水道の設備があり、排泄後は手動でホースから水をまくというアナログな方法です。便は備え付けのゴミ箱に入れておけば、施設管理の人が後で回収してくださるということでした。

## 3、盲導犬のトイレの方法をご紹介いたします

盲導犬の排泄は原則外で行います。「ワンツー」という指示語があり、ハーネスを外してリード（革紐）だけで使用者の周囲を回って排泄場所を探します。尿は持参したペットボトルから水を流して洗い流します。便は、持参したビニール袋に手を入れて回収後、ビニール袋をひっくり返して人間用のトイレで流します。ちなみにベルトにビニール袋を装着してその中に排泄させる訓練を行っている盲導犬育成施設もありますが、袋を付けて排泄をさせるのにもテクニックが必要ですし、犬も正直袋にするのには抵抗がある様子です。介助犬の場合ペットシーツを引いてそこにさせるという方法が一般的なのですが、盲導犬ではその方法は採用されていません。理由は私も定かではないのですが、介助犬使用者の場合視覚には問題がないため適切な場所にペットシーツを引いて、犬が排泄後問題なく排泄物を回収することが可能なのですが、盲導犬使用者は目が見えないため排泄物を確認するのが難しいためペットシーツは採用されていないだと推察されます。実際我々の経験をお話しますとこれまで盲導犬チャリティコンサートは旧伊勢丹前広場で開催していましたが伊勢丹の閉店に伴い、現在は駅に直結したデッキで行われています。伊勢丹の近くには土の地面があり排泄場所を探すのは比較的容易だったのですが、駅前ではなかなか適した場所が見つからず、10数分かけて公園まで歩かなければならぬのが現状です。そうすると雨天では困ってしまいますし、咄嗟の対応は難しいのが実情です。これは我々だけの問題ではなく、バリアフリーな社会作りの一歩にとっても改善すべき課題だと実感したのです。先ず松戸駅内に盲導犬トイレを設置してもらえないかと交渉したのですが、既にバリアフリー改修工事の予定が決まっており断念。そこで盲導犬を普及させる会では駅付近にトイレを設置してもらえないかと市役所に要望を出しました。できれば駅に隣接した駐車場付近であれば屋根もあり水道もあるため利便性が高いと思われるからです。しかし昨年から今年にかけて市会議員の関根氏を仲介に複数回市役所の担当部局と話し合いの場を設けてもらいましたが、残念ながら現時点では認められていません。『今後の展望』松戸市役所の移転計画があると聞いています。現在の場所よりは駅に近くなる様子です。できれば市役所などの公共施設には盲導犬が安心して排泄できるトイレの場所の確保をお願いしました。もちろん福岡の天神にあるような設備があれば理想ですが、排水溝と水道、それに雨がかかるような屋根があれば十分です。また、引き続き駅前で担当課と相談しながら盲導犬が安心して排泄できる場所を探して行きたいと思います。チャリティコンサートは一過的なことですが、排泄は日常的に行うことです。当たり前に盲導犬が安心して排泄できる場所があればと願っています。そして新しい施設や既存の施設の改修工事を行う時には、是非当たり前に盲導犬用トイレの設置を検討してもらえばと願っています。



### ボランティアを募集中

★交流会・チャリティコンサートの手伝い

★体験フェア・学校講演の手伝い

★問い合わせ先：090-8003-7790 振込先：郵便振替 盲導犬を普及させる会 00150-1-658055

### 会員・募金箱設置者募集中

個人年会費 ¥1,000-

賛助年会費 ¥10,000-

## 私のコロナ自粛中の過ごし方

うちの主人は運送業の仕事であるため、テレワークができる職種ではありません。そう思うと私とパートナーのワラクの通常の過ごし方としては、変化は少ないほうかもしれません。それでもコロナでの春の緊急事態宣言が出てからは友人とのランチをすることができなくなり、買い物に行くのも控えネット上での買い物が多くなりました。通院もできず電話での診察。薬局の方が薬を家まで届けてくれ、ほぼ外出しなくても生活が成り立ってしまうくらいでした。友人とは、直接会えなくても、ライン通話やZoomなども利用していたので話はできましたが、やはり声は聞けても会えなくて寂しい気分はありました。そんなコロナ状況の時でも、できる限りかかさずやっていたことと言えば…ワラクとのお散歩！1日2回は行くようにしていました。やはり外の風を感じられると、気持ちがリフレッシュされ、コロナでの自粛生活のストレスも、ワラクとのお散歩で発散！パートナーのワラクがいてくれるからこそ、私のストレス発散方法です。それに一日合計2時間くらいは歩いているので、ワラクと私にとっても健康やダイエット効果に繋がっています。

事態宣言が出て、まだまだ油断はできない状態ですが、お散歩に出る時は感染症予防をしっかりして、また普通に友人とランチや、買い物、いろんな所へ遊びに行けるようになる日を待ちたいと思います。

## 飯島かおり&amp;ワラク



## コロナ自粛期間の目標。

昨年4月、千葉に緊急事態宣言が出され不要な外出は禁止となりひと月の半分ほど出かけていた私は自粛期間の間何をしたら良いか考えました。

## 山岸小百合&amp;ハイル

① 断捨離 ②料理のレパートリーを増やす ③ハイルとの歩行の見直し。当時はコロナ禍での自粛期間がどれくらい続くのかわからなかったので先ずはこの3つを目標とすることに！ 断捨離は増えた洋服を少しずつ処分。お料理はおかげの一品は新メニューにする。このふたつは時間がかかるけどクリアすることが出来ました。でも…③目のハイルとの歩行の見直し、これは簡単に進めることができませんでした。月の半分は外出していましたけど振り返れば近所をガツツリお散歩することはなかったことに気づき、外出先での歩行だけでは基本に忠実に歩いていないんだと言うことがハッキリわかりました…。慌てた私は早速訓練士さんにメールをしました。ハイルとの歩行でつまづいていることを全て書いて送ったところ訓練士さんからの返信の内容は思った通り「基本の見直し」ということでその内容がびっしり書かれていました。そこからは私とハイルの格闘の始まり…そして今も格闘は続いています。この自粛期間がなかったらこれらのこと気に気づかずもっと大変なことになっていたと思います。そう考えると私とハイルにとっては実のある自粛期間と言えるのかもしれないです。



## 引っ越し

## 森 公子&amp;グリーナ

コロナ禍の昨年夏、私に引っ越し話が持ち上がった。懸命に働いて建てた家だが、40年も経つと中も外もガタガタ。建て替える力などないし、良い潮時かもとの思いもあって手放すことを決心しました。心の整理を始めて半年後の12月13日、「引っ越しが決まったよ」と近くに住む弟から「23日までに家を空けてね」と唐突に電話があり、思わず「はあ！？」と耳を疑った。たった十日じゃ後片付けも荷物をまとめる余裕もないし私とグリーナの住処もない。どう

するんだ？と不安も募る。それから四日後「マンションの空き室を見つけたから見に行かない？」と友人から電話があり内見に行くと翌日入居が決まった。しかし契約上すぐには入れず、グリーナともども弟宅に仮住まい。地理不案内とコロナの関係で自由に外出できず、日々巣ごもり生活をしています。私にとって生涯初のマンション暮らし。頭の中の地図を新たに組み立てなくてはいけないけど、社会人一年生に戻ったみたいにわくわくしながら、入居が許される2月12日を待ちわびていますよ。（1月15日記）

## ご支援ありがとうございます。(敬称略) (募金箱設置・賛助会費)

近年会員数減少により、会運営に支障が生じています。年会費千円ですが、是非お知合いの方を紹介してください。(会計より)

<賛助会費>花嶋みつえ、安藤じゅん子、渡新工業(株)、今村正、日野動物病院、イワブチ(株)、原宏隆、カフェドカオリ 剣持英子<寄付金>カフェドカオリ 剑持英子、帰山吉弘、道端久美子、続橋佳子、中西叔江、上野京子、八巻広美、三瓶芳子、大山享子、矢代三郎・八千代、齋藤連子、田沼香代子、中村明雄、片倉悦子、田中孝夫、森俊士、大塚秀夫、白鳥正道、フランカム優子、海老原八重、小坪淳志、細川久美子、染谷欣子・戸松美佐子<協賛金>高橋靖江、セキハウス(株)、ペーリンガーインケルハイムアニマルヘルスジャパン(株)<募金箱>どんぐり動物病院、森動物病院みのり台病院、日野動物病院、小金原動物クリニック、森動物病院五香本院、小板橋病院、五井動物病院、エコルレスタはりきゅう整骨院<講演料>昭和学院小学校、高木第二小学校、習志野第三中学校、松飛台第二小学校